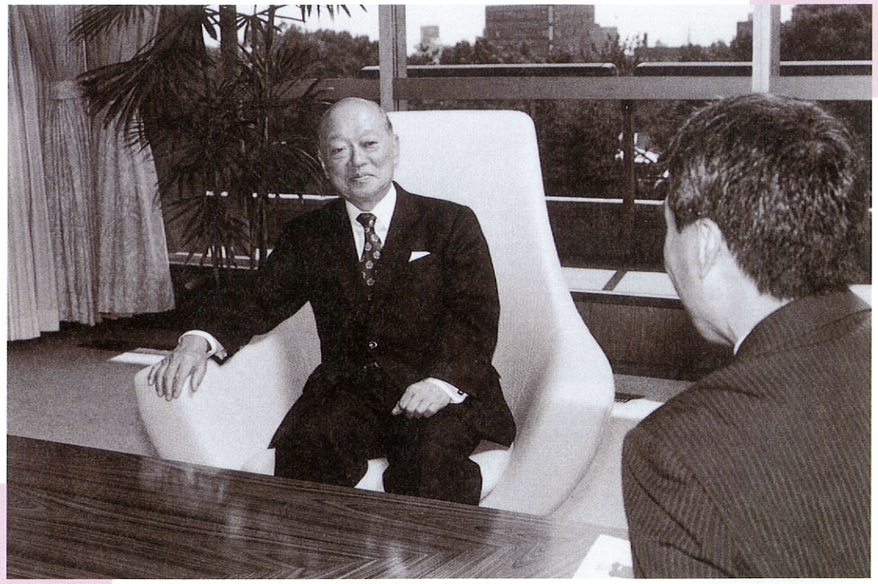
知事 抱負を語る

# 時代の要望を踏まえ、総合計画の推進を

福島県政二期目へ



去る二月に県民の皆様から再び御支持をいただき、引き続き県政を担当させていただくことになりました。私に寄せられた県民の皆様の期待の大きさに、改めて責任の重さを痛感いたしております。県内をくまなく回らせていただきながら、各地域で、県民の皆様方がそれぞれの課題に積極的に取り組み、頑張っておられる姿を拝見し、大変心強く感じております。微力ではありますが、今後とも、県民の皆様方の御協力を得ながら、諸問題に正面から取組んで、誰もがひとしく生まれてよかったと思えるような熊本をめざして、全身全霊を傾けて努力して参りたいと考えております。県民の皆様の御支援を心からお願い申し上げます。

今年は、年明け早々に兵庫県南部で大地震が起こり、甚大な被害が発生しました。被災者の方々はいまだに不自由な生活を余儀なくされておられます。改めて亡くなられた五千名を超える方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に御見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興が実現するよう、本県としても様々な救援活動を行ってきておりますが、今後も、できる限りの支援、協力に努めて参りたいと考えております。また、このような大規模な災害に際しては、行政の的確な対応が極めて重要であることを改めて認識いたしました。本県としても、安全で住みやすい県土をつくりあげるために、地域防災計画を点検し、早急に必要な見直しを行うなど、災害の防止に万全の取組みを行いたいと考えております。

再選後初めての登庁（平成7年2月6日）

2月定例本会議より

さて、私は、これからの熊本づくりを考えるとき、二十一世紀にかけて、人々の価値観やライフスタイルが多様化する中、県民一人一人が尊重され、それぞれの夢や願いがかなえられる、そのような社会をここ熊本で実現したいと念願して参りました。そして、この四年間、「公正・公平・公明」を旨とし、弱い立場の人々や弱い地域の力強い味方であることを基本として、誠心誠意、全力投球で県政に取り組んで参りました。

一昨年には、たくさんの県民の方々の知恵をお借りして、二十一世紀に向けての県政運営の指針となる熊本県総合計画「ゆたさか多彩『生活創造』くまもと」を策定いたしました。「躍動するくまもと」と「優しいくまもと」づくりを二本の柱とするこの総合計画は、策定から二年が経過し、戦略プロジェクトを中心とした様々な施策も総じて順調に進んできていると思っております。

これからの四年間は、この計画に沿って、多くの課題を一つ一つ着実に実現していくべき重要な時期であり、今後県政を進めていくうえでは、この計画に掲げた施策をきちんと実行に移していくことが何よりも重要であると考えております。また、総合計画を策定した時点以降の社会経済情勢の変化を踏まえ、総合計画を補強することが必要な場面も出てこようかと思っております。時代の要請に対応するそうした見直しの目を常に持ちながら、新たな政策課題についても的確に対応し、県政を推進して参りたいと考えております。

そのためには、まず、幹線道路網などの交通基盤の整備、とりわけ九州新幹線の整備に関連した事業など、九州の中枢拠点をめざした都市圏の基盤整備や諸機能の充実が急務であろうと思っております。

また、農林水産業・商工業など力強い産業の振興を図るとともに、豊かな自然や居住環境の保全整備に努め、それぞれの地方圏の特色が生かされた整備を図って参ります。

さらには、お年寄りや障害者のある方々のための地域福祉の充実、青少年のための教育の振興も重要な課題であり、女性の社会活動への積極的な支援も進めていかなければなりません。

水俣病に関連した諸問題についても、一日も早い解決をめざして、引き続き努力して参りたいと決意を新たにしております。

また、行政改革についても、全力で取り組む所存であります。社会経済情勢や県民意識の変化に的確に対応するとともに、総合計画の着実な推進を図るため、生活者の視点、地域の視点から、改めて県行財政運営全般にわたる総点検を行い、時代の要請にふさわしい組織体制や効率的な行財政システムの構築に努めて参ります

二期目をお預かりするに当たり、財政状況は大変厳しいものがありますが、「助けあい、励ましあい、志高く」の熊本の心を持ち、県民の皆様と力を合わせていくことによって、躍動感にあふれ、優しさに満ちた素晴らしい熊本をつくっていけるものと確信しております。今後とも、県政に対しまして県民の皆様の一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

福島譲二（ふくしまじょうじ）

■プロフィール
- ●昭和２年3月31日生まれ
- ●昭和23年9月　東京大学法学部政治学科卒業
- ●昭和23年9月　大蔵省主税局国税一課
- ●昭和43年8月　内閣総理大臣秘書官
- ●昭和51年12月　衆議院熊本県第2区で初当選
- ●平成元年8月　労働大臣
- ●平成３年2月　熊本県知事当選
- ●平成６年2月　熊本県知事再当選（2期目）